

けやき



高井戸小学校 けやき学級 TEL&FAX 03-3334-1299

No. 427 R5. 1月号

明けましておめでとうございます

新しい年が始まりました。冬休みは年末年始の行事等で充実した日々を過ごされたことと思います。通級に来る子供たちから冬休みの楽しかった思い出を聞けるのが楽しみです。

3学期は短い期間ですが、1年間のまとめとして大切です。けやき学級担任一同、充実した学習にしていきたいと計画しています。本年もよろしく願いいたします。

1月・2月の行事予定

日	曜日	行事予定	個別指導予定	
			午前	午後
1月				
10	火	高井戸小 始業式 都難言協ブロック研究会		
11	水	3学期個別指導開始		
16	月	区難言定例研究会		
21	土	高井戸小 土曜授業		
24	火	都難言協ブロック研究発表会		
25	水	専門家診断	一部	
26	木	専門家診断		
31	火	都難言協ブロック研究発表会		
2月				
1	水	高井戸小1年生 理解教育授業	一部	
6	月	保護者向け講演会		
7	火	都難言協ブロック研究会		
13	月	区難言定例研究会		
14	火	都難言協ブロック研究発表会		
17	金	高井戸小3年生 理解教育授業	一部	
18	土	高井戸小 土曜授業 5年生 理解教育授業		
20	月	高井戸小 振替休業日		
23	木	天皇誕生日		
27	月	入級検討会議		一部
28	火	都難言協ブロック研究発表会		

理解教育授業<4年生>

「聞こえにくいってどんなこと？」



高井戸小学校では、校内の4年生を対象に難聴理解教育授業を毎年行っています。11月30日(水)に、「聞こえにくいってどんなこと？」というテーマで学習しました。聞こえの仕組みを学んだり、聞こえにくい体験を通して感じたことを皆で出し合ったりして、聞こえにくくて困っている人に出会ったときに自分たちはどんなことができるかを考えました。

☆子供たちの感想より(一部抜粋)☆

- ★「聞こえにくい人は大へんだ!!」みたいなことを思っていました。ぜんぜん聞こえないわけでもないことが分かりました。少しは聞こえる、全く聞こえないなどの差があることが分かりました。もしそのようなことがあったらやさしく対おうできたらいいなと思います。
- ★ふつうの人がしゃべっている声もよく聞こえないということが分かったので、口の形を見ているんだな、そのためほちょうきやフェイスシールドがあるんだなと分かりました。
- ★話が小さく聞こえるだけだと思っていましたが、聞こえにくさの体験をしてわたしはびっくりしました。オンライン画面がかたまった人が話しているように聞こえたり、テレビがこしょうしたときの砂あらしの音がまじっていたり。なにか一つでも手助けできるようにしたいです。
- ★聞こえにくい人には大きな声を出せばいいと思っていただけ、体験をして、手話や字を書くということが分かって、今後は音が聞こえないおじいちゃんに字を書いて伝えたいと思います。
- ★他の人の声でさらに聞こえづらくなるからそういうのをへらそうと思いました。聞こえにくい人だけでなく聞こえる人間も聞きやすいように、しずかにしたいと思います。
- ★授業中とかこまるので、話しにくく聞きづらいと分かったので、紙に書くとかしずかにするなどしたらその人が気持ちよくすごせるかなと思いました。
- ★ほちょうきってこういう物なんだ、テレビの字まくはそういう意味なんだあ、というのが分かりました。
- ★身ぶり手ぶりでも伝えられたらいいな、と思います。
- ★スマホのメモをつかったり、筆談で話したり、手話ができれば手話で話そうと思います。手話をできるように勉強したいなと思いました。

読み書きが苦手な子の理解と支援

「分かりやすい」と思う方法はお子さんによって異なりますが、支援の参考に、教室で指導していること、家庭や在籍校でできることについての例をご紹介します。

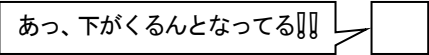
参考資料「発達と障害を考える本③LD(学習障害)のおともたち」NPO 図書館

読むことがうまくできない…

○形の似ている文字を区別することが難しいよ。「ろ」と「る」なんかしょっ中間違えているみたいで、友達から言われるよ。



↓
形のよく似た文字は、違っている所を子供自身に見付けさせ、見付けた所を自分の言葉で説明して確認できるようにしました。



○初めて出てきた言葉や普段使わない言葉は、どこで区切って読めばいいか分からないんだ。

↓
新しい言葉をカードに書いておき、そのカードを見て言葉を読み取る練習をさせました。また、文字の形を覚えた後で、他の言葉のカードと並べておいて、その中から覚えたカードを選ばせるなど、ゲームのように楽しみながら練習できるようにしました。

他にもこんな工夫があります

- 文字を指でなぞりながら読むようにします。
- 文に区切り線を書き込みます。
- 語と語(文節と文節)を分ける「分かち書き」にします。
- 文章の行間を広くとったり、字を大きくしたりします。
- 1行だけが見える枠を使います。
- 既習漢字でもフリガナをつけます。

書くことがうまくできない…

○小さく書く字は間違えちゃうんだ。「きって」の「っ」を書き忘れて「きて」って書いてちゃうよ。

↓
声に出して読むことで、小さい「っ」が入っていることを確認させます。「っ」が入った言葉を書かせるときは、他のマスより小さくして各場所をはっきりさせました。

○ホワイトボードの文字はちゃんと見えているのに、書くときに左右がわからなくなって漢字のへんをつくりを逆にしちゃう。線が多いごちゃごちゃした漢字は、線を一本書き忘れたり多く書いたりしちゃうよ。

↓
漢字を紙に書いて渡し、それを手元に置いて見て書かせるようにしました。



他にもこんな工夫があります

- カルタ等を使って、具体物(例:魚の絵)と「さ」という字を組み合わせることで文字を想起しやすくします。
- 想起に時間がかかったり、書字への負担が大きかったりする場合はひらがな(カタカナ)表などを使用します。
- 漢字を部首やつくりごとにばらして練習します。
- 腕全体で空書きするなど、身体のイメージを併用します。
- 「はね」や「はらい」にこだわらず、書けたら認めます。
- パソコンなどの機器を利用します。